

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院のリバーズ型人工肩関節置換術の術後成績及び機能的回復についての検討

[研究責任者]

整形外科・リハビリテーション科 医長 塩田直史

[研究の背景]

変形性肩関節症もしくは肩関節周囲骨折は、年齢的な変化からの軟骨摩耗や脆弱性骨折として近年患者数が増加しています。従来では、手術をおこなっても回復が見込めない変形性肩関節症や、高度の腱板断裂、肩周囲骨折に対して、2014年4月からリバーズ型人工肩関節が認可され手術可能となりました。

このリバーズ型人工肩関節置換術は、日本に導入されてから日が浅く、日本の臨床成績についてははっきりしたデータがありません。この手術に関するデータの蓄積・検討は、今後の本手術の成績向上に繋がると考えられます。

[研究の目的]

この臨床研究は、当院でリバーズ型人工肩関節置換術の手術を受けられた患者さんに対して後ろ向き研究を行い、術後成績を調査することを目的としております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦2014年4月1日から西暦2018年3月31日の間にリバーズ型人工肩関節置換術の手術を受けた方

●研究期間：

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦2021年4月30日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：

- ・患者さんの基本的な情報
(性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力など)
- ・臨床情報
(診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など)
- ・レントゲン検査結果
(インプラントの摩耗、骨との固着状態など)

- 血液検査結果
（CRP や血沈などの炎症マーカー他）
- 理学療法評価
（動作能力、アンケートによる生活動作能力評価、認知症評価の結果など）
- 検体や情報の管理
検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

【研究責任者】

塩田直史 岡山医療センター 整形外科・リハビリテーション科

【研究分担者】

佐藤 徹 岡山医療センター 整形外科

黒田 崇之 岡山医療センター 整形外科

川澁 雄大 岡山医療センター 整形外科

金子 倫也 岡山医療センター 整形外科

田村 公一 岡山医療センター 整形外科

川田 紘己 岡山医療センター 整形外科

[個人情報取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 整形外科・リハビリテーション科 塩田直史が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡山医療センター 整形外科

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

電話：086-294-9911

研究代表者：整形外科・リハビリテーション科 塩田直史